

第2節「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～

施策232 結婚・妊娠・出産の支援

基本事業23203 切れ目のない妊産婦・乳幼児ケアの充実

(主担当 地域保健課)

三重県版「健やか親子いきいきプランみえ(第2次)」に基づいて、「子どもを産み、育てる人にいつも寄り添い、すべての子どもが健やかに育つ三重」を目指して、地域支援体制の充実に向け取り組みます。

1 健やか親子支援事業

(1) 長期療養児等ハイリスク児訪問指導

地域での在宅支援が必要なため医療機関、児童相談所、各市町母子保健担当者から情報提供のあった児とその保護者に対して市町と連携して虐待予防の視点も含め育児支援を行いました。

対 象 : 長期療養児(ハイリスク児)とその保護者

訪問件数 : 延べ15件(実件数5件)

電話相談 : 述べ16件

(2) 連絡調整及びケース検討会

参加機関 : 医療機関関係者、市町担当者、児童相談所、訪問看護ステーション等支援に関わる関係者

内 容 : 子育て困難ケースに対して情報の共有化と支援の検討

参加回数 : 2回

(3) 思春期健康支援

思春期は、身体的・精神的発達の変化が最も大きいため特有な悩みが多く、その対応が将来の健康に大きく影響を与えることから、正しい知識を伝え健康的な生活を送れるよう支援しました。

① 来所、電話相談

思春期の身体やことろに関する相談を随時実施しました。

相談件数 : 延べ10件

② 関係機関との連携

管内で小中学、高校生を対象に性教育を実践している団体が主催の思春期勉強会へ参加し、教育現場での性教育の実態把握に努めました。

勉強会を通じて産婦人科医や助産師、養護教諭と管内の思春期保健の課題についても共有しました。

参加回数 : 4回

(4) 母子保健体制整備

管内市町母子保健担当者の情報交換やスキルアップを図ることで保健所、市町の役割を明確にし、途切れのない母子保健支援体制を整備しました。

開催日	参加数	内容
第1回 平成29年 6月28日(水)	15人	母子保健担当者意見交換会 各市町の母子保健取組の現状と課題について 1歳半健診の実施方法について 産婦人科医との連携について
第2回 平成30年 2月5日(月)	12人	講演 「母乳やおっぱいケアについて」 講師 伊勢赤十字病院 看護師長 助産師 福岡 志延氏

2 小児慢性特定疾病医療費助成

長期にわたり療養を必要とし、療養のために高額な費用を必要とする小児慢性特定疾病（14疾患群）の患者に対して児童等の健全な育成を図るために、医療支援を行いました。

平成30年3月31日現在

区分	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	変化を伴う症候群	染色体又は遺伝子に	皮膚疾患	合計
件数	27	22	3	32	49	9	17	6	7	0	12	17	6	1	208	

3 特定不妊治療費助成事業

指定された医療機関において、特定不妊治療（体外受精か顕微授精）を受けた夫婦を対象に、治療費の一部を助成しました。

平成29年度

申請数	承認	不承認
158	158	0